

## I はじめに

和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン(2025年2月策定)では、この10年で重点的に取り組む項目の一つとして「美術館の長寿化に併せて、寄贈敷地の有効利用と収蔵品を活かした展覧会の開催に対応するリニューアル計画を進めます。」と明記されており、リニューアル計画を進めるに当たり、その考え方を整理すべく「久保惣記念美術館リニューアル基本構想」を策定(2025年6月策定)しました。リニューアル計画の推進により、リニューアル後は年間来館者7万人をめざします。

## II 運営ビジョンとリニューアル視点

### 1. 美術館の運営ビジョン

#### (1) 使命(ミッション)

- ① 多様な価値観・心の豊かさを育む美術館
- ② 未来の和泉を織りなす美術館
- ③ まちと人を紡ぐ、和泉に根ざした美術館

#### (2) 基本方針(ビジョン)

多様な主体が美術館のリソースを最大限に使いこなすことで美術館とまちが融和した質の高い空間を形成し、和泉の価値と創造性を高めます。

### 2. 将来像に向けたリニューアルの視点

『世界を席巻したジャポニズムと浮世絵の魅力  
デジタル技術を駆使した常設展に拘る美術館』

『まちづくり、賑わい創出などまちの核となる美術館』

『アートセンター機能の役割を持つ美術館』

『ワークショップや研修の場として  
子ども達もアート思考を学ぶ美術館』

『多様な主体が美術館のリソースを  
最大限に使いこなす美術館』

『来訪促進・インバウンドの取り込みなど  
戦略的に運営する美術館』

『美術品を介した時空空間として  
滞在できる美術館』

『地域の景観づくりを誘導し  
人にやさしい美術館』

## III リニューアルの基本方針と目的

### 1. リニューアルの基本方針

- (1) 現建物の意匠、設計意図や空間構成の根幹を尊重
- (2) ライフサイクルコストの低減、環境負荷の軽減
- (3) 設計当初からの合意形成の尊重
- (4) 文化財資産として後世に残す建物
- (5) ARやVRなど最新デジタル技術を活用する展示

### 2. リニューアルの目的

- (1) コレクションにあった展示室と収蔵庫の配置検討
  - ① コレクションの内容と規模の変化
  - ② 美術館のコレクションと新館での常設展開催
  - ③ 常設展と展示室増築の考え方
  - ④ コレクションを活かしテーマ性のある特別展開催

### (2) 美術館固有の課題の検討

- ① 寄贈を受けた隣接用地の活用
- ② 西棟の考え方を踏まえた活用方針
- ③ 茶室の保存活用計画の取組み
- ④ 新館と本館エントランスを結ぶ美術館の観覧動線
- ⑤ 誰にでもやさしい美術館の工夫
- ⑥ 駐車場の整備

### (3) 美術館に求められる新たな機能や役割の検討

- ① ワークショップ開催などの研修室、カフェレストラン機能、ミュージアムグッズ販売スペース充実
- ② AR技術など最新の技術を活用
- ③ 観光資源としてインバウンド戦略
- ④ 和泉・久保惣ミュージアムタウンとアートなまちづくりへの役割

## IV 具体的内容

### 1. 機能と改修内容の検討

- (1) 新館の増築  
美術館の拡張用地の活用(将来計画も踏まえた展示室、収蔵庫、多目的室、カフェレストランなど増築)

### (2) 新館の展示室

浮世絵を主とした常設展の開催、新たな展示室は、西洋近代絵画の展示など天井高さもありフレキシブルな展示が行える展示室とする。

### (3) 収蔵庫

将来も見据える収蔵庫の確保

### (4) カフェレストラン、ミュージアムショップ

カフェレストラン機能については、館内からのアクセスと、外部から直接アプローチができるアクセスの検討、ミュージアムショップの充実

### (5) 多目的室の増築

市民講座や文化芸術科学ふれあい体験事業、ワークショップ開催などの利用、アートセンターとしての機能など多機能な利用を想定した設備を備えます。

### (6) 誰にでもやさしい美術館

高齢者や乳幼児、障がいのある方などが、気軽に利用できるよう、トイレ設備の改修やおむつ替え台や授乳室の設置、新館から本館にかけての動線の雨天時の対応やバリアフリー化

### (7) 本館の改修

必要な機能や改修が必要な部分(調査研究室、特別閲覧ルーム、エントランス、1階トイレなど)

### (8) 図書室の改修

図書室と図書の保管スペースを改修(デジタル検索など利用者にとって快適な空間となるよう検討)

### (9) 照明計画

LED照明による多彩な演出効果(鑑賞条件と損傷抑制の二律背反の条件をLEDならではの特長を活かすことによって、美術館においての良好な照明を実現)

### (10) インバウンド計画

国籍を問わず楽しめるサイン計画と多言語の充実(多言語化できるアプリやデジタル機器を活用し、館内のサインはピクトグラムを充実します。)

### (11) 茶室の保存活用計画の実行

茶室及び庭園の活用計画

### (12) 屋外計画

新館ゾーンと本館ゾーンを繋ぐ市民施設ゾーンのバリアフリー化と雨天対応、本館エントランス増改築

### (13) 駐車場整備

周辺施設の一体的利用管理などを含めた駐車場整備

### 2. レイアウト配置

新館ゾーンと本館ゾーンを繋ぐ歩行者動線となる市民施設ゾーンは、バリアフリーや雨天時の対策などを検討します。また、既存の市民ギャラリーや市民ホールと併せて市民滞在利用を考慮し、多彩に利用できる多目的室やカフェレストランなどの配置を検討

## V 事業実施に向けて

### 1. スケジュール 大阪・関西万博

リニューアル計画実施スケジュール表						
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
運営ビジョン策定	リニューアル基本構想	リニューアル基本計画	リニューアル基本設計・実施設計	リニューアル工事		新美術館リニューアルオープン

### 2. 工事概要

- (1) 増築工事(建物解体工事を含む。)
- (2) 改築工事
- (3) 電気設備・給排水衛生工事・空調設備工事
- (4) 屋外整備工事

### 3. 事業資金の確保に向けた取組

- (1) ガバメントクラウドファンディングの検討
- (2) ふるさと元氣寄附や企業版ふるさと納税積極的取組
- (3) 補助金事業の調査確認

### 4. リニューアル後の目標と取組

- (1) 目標来館者数 (70,000人)

### (2) 入館者増加に向けての取組

- ① 魅力ある展覧会事業
- ② インバウンド戦略
- ③ ファン層の拡大
- ④ 平日利用の促進
- ⑤ 桃山学院大学との連携
- ⑥ 戦略的な広報宣伝

### (3) 入館料金の検討

